



# たぬしまる

久留米市立田主丸中学校通信

【教育目標】ともに未来を切り拓く「人間力」を身につけた生徒の育成

令和5年6月16日（金）No. 5 文責：校長 立山雅夫

## ☆久留米市青少年弁論大会（6月7日）

6月7日に、久留米市青少年弁論大会が、文化センター共同ホールで開催されました。中学生の部では、20校の久留米市の各中学校から代表者1名が出場し、弁論大会が行われました。田主丸中学校からは、3年生の古賀 美陽（こが みはる）さんが代表で出演しました。演題は「気づいたこと」で、自分の体験から、学んだこと、気づいたことで「当たり前はない。人のために行動することが自分のよろこびになる」ことを堂々と発表してくれました。私も、弁論大会に参加していたのですが、感動するものがありました。 **結果は、見事、優勝！ おめでとう！**

次は、7月22日に久留米市の中学校を代表して、大川市文化センターで開催される筑後地区弁論大会に出場します。

古賀美陽さん、大会まで弁論の原稿作り、発表の練習など、大変だったと思います。よく頑張りました。弁論、素晴らしかったです。お疲れさまでした。

なお、10月19日に行う予定の校内文化祭で発表してもらうようにしています。



## ☆久留米市中学校夏季総合大会（6月23日（金）、24（土））があります。

体育部の最後の中学校大会が始まります。陸上部は、6月12日に、筑後地区中学校夏季陸上競技大会が、他の体育部に先駆けて、久留米市総合スポーツセンターで行われました。陸上部の皆さん、お疲れさまでした。1年100mで、二又 健翔（ふたまた けん）さんが、見事、福岡県中学校陸上大会の出場権を得ました。県大会でも頑張ってください。

さて、6月23日（金）、24日（土）と、久留米市中学校夏季総合大会が行われます。市大会に出場する生徒の皆さんは、この大会に向けて、朝練、午後連、休日と、しっかり練習してきたことだと思います。今まで練習したことを、大会ではしっかり出して自分の納得する競技をしてきてほしいと思います。また、大会では、今までの練習でうまくいったことを思い出し、どのような競技をするか整理し、おちついて大会に臨んでほしいと思います。試合に関することでは、今まで練習したこともありますが、最後は、気持ち、気迫です。緊張もするでしょうが、相手も緊張する気持ちは一緒です。今まで、やってきたことを振り返り、自信をもって競技をしてきてほしいと思います。

特に3年生は、最後の中体連大会が始まります。田主丸中学校の生徒としての自信と誇りをもって、最後まであきらめず競技を行い、一つでも上の大会に行けることを願っています。また、大会に向けて、協力してくれた、保護者の方々、顧問の先生、大会役員の方々などへ感謝することも忘れないでほしいです。

今まで、努力したこと、取り組んだことは、決して無駄にはなりません。生徒自身に何かしらの力がついていていると思います。

保護者の皆様の応援を、よろしくお願いいたします。（大会での入場制限はございません。）生徒の集合時間、大会開始時間等は、各顧問から連絡があります。